※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史 A	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新日本史Ａ　（実教出版）						
副教材等	自主製作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史 A は幕末から現代までを扱う近現代中心の日本史です。日本の近現代史は近隣諸国の近現代史と深い関連があります。歴史を現代の課題と関連させて学ぶことが重要です。

２　学習の到達目標

・日本近現代の歴史をふまえ，近現代史 を事実に基づき把握し，歴史の構造とその変化を理解する。
・歴史を現代の課題と関連して主体的に学び，歴史的思考力を養う。
・日本の歴史を世界の動きと関連して把握し，国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	レポートの提出 授業での発言・態度	定期考査 レポート	定期考査 レポート	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	近代国家と社会の形成	欧米のアジア進出 幕末の動乱と開国 明治政府の成立 文明開化 自由民権運動	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	二つの戦争と大日本帝国	条約改正 日清戦争 日露戦争 産業革命の進行 社会問題の発生	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	第一次世界大戦とデモクラシー	第一次世界大戦 ワシントン体制の成立 大正デモクラシーの展開 労働運動などの活発化 政党政治の推移	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出

※令和３年度以前入学生用

後期	アジアの戦争と第二次世界大戦	昭和恐慌の影響 大陸政策の変更 満州事変 日中戦争の長期化 太平洋戦争	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	現代日本の源流	国際連合の成立と冷戦 アメリカの占領政策と改革 日本国憲法の制定 朝鮮戦争 日本の独立回復	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	冷戦と高度成長	日韓基本条約と日韓関係 ベトナム戦争と冷戦の激化 高度経済成長 沖縄返還 日中国交回復	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。